

# 都南川目道路の位置付けと事業経緯

## 都南川目道路の位置付け ～宮古盛岡横断道路(地域高規格道路)～

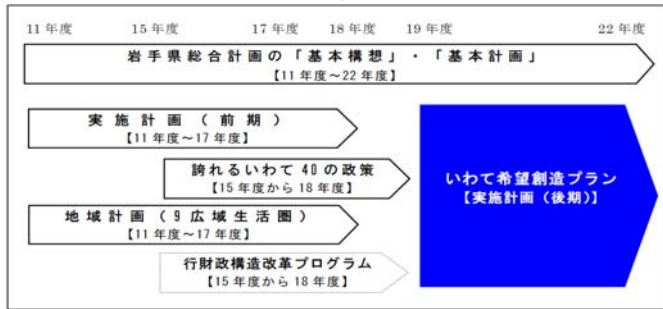
- 東北地方の広域交流連携に資する格子状骨格道路ネットワークを形成。
- 三陸縦貫自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ横断道路として機能。また、地域高規格道路「盛岡秋田道路」を介して、日本海沿岸東北自動車道と連結することにより、東北地方の広域横断ネットワークを形成。
- 都南川目道路を含む「宮古盛岡横断道路」は、岩手県宮古市から県都盛岡市に至る延長約100kmの地域高規格道路として、平成6年12月に計画路線に指定。



▲格子状骨格道路ネットワーク(H21. 4現在)

# 岩手県総合計画『いわて希望創造プラン』における位置付け

## いわて希望創造プラン



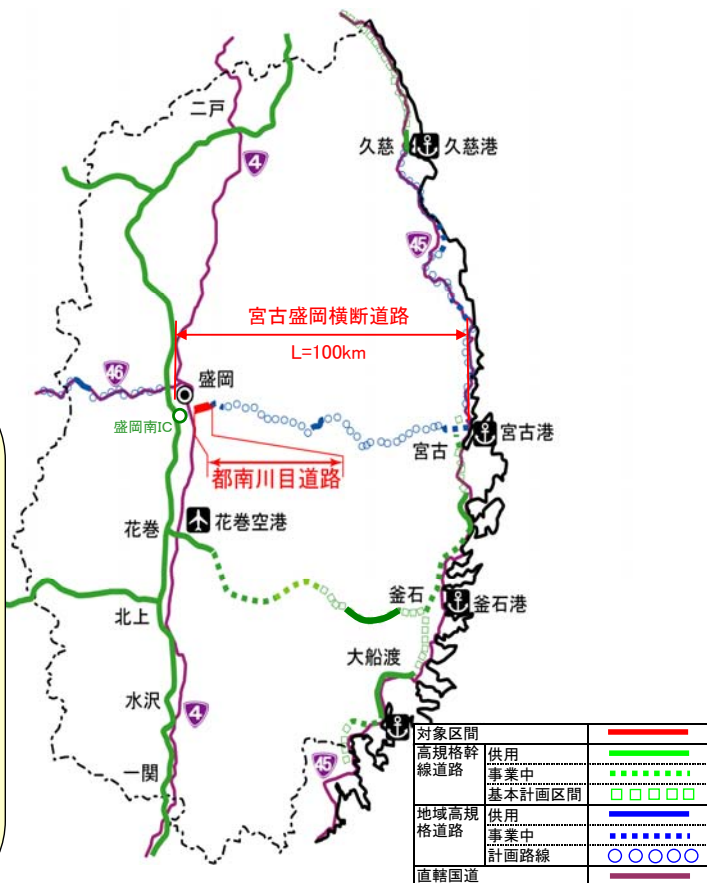
### 【位置付け】 ※県央圏域重点施策

**産業経済活動、地域間交流を支える社会資本の整備**

産業経済活動を支える物流ネットワークを構築、緊急輸送道路を確保するとともに、国道4号の整備など、圏域内外の交流を促進する広域交通ネットワークの整備を促進します。

### 主な取組内容

・国道106号 都南川目道路、築川道路

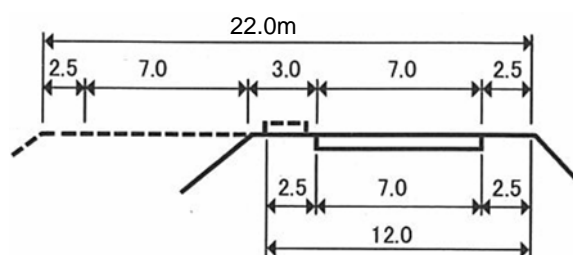


# となんかわめ 国道106号 都南川目道路



# 事業概要

- 事業の目的
  - ・盛岡地方生活圏と宮古地方生活圏の交流、連携の促進
  - ・地域経済、産業、観光の活性化
  - ・広域的な救急医療アクセスの向上
  - ・緊急輸送道路の信頼性向上
- 事業区間 盛岡市川目第5地割～盛岡市手代森
- 延長・幅員 延長L=6.0km、W=22.0m(4車線) [暫定2車線 12.0m]
- 構造規格 自動車専用道路(第1種第3級)、設計速度80km/h
- 事業費 300億円(完成4車線) [暫定2車線 200億円]
- 事業着手 平成9年度(直轄権限代行事業)



▲標準横断面図

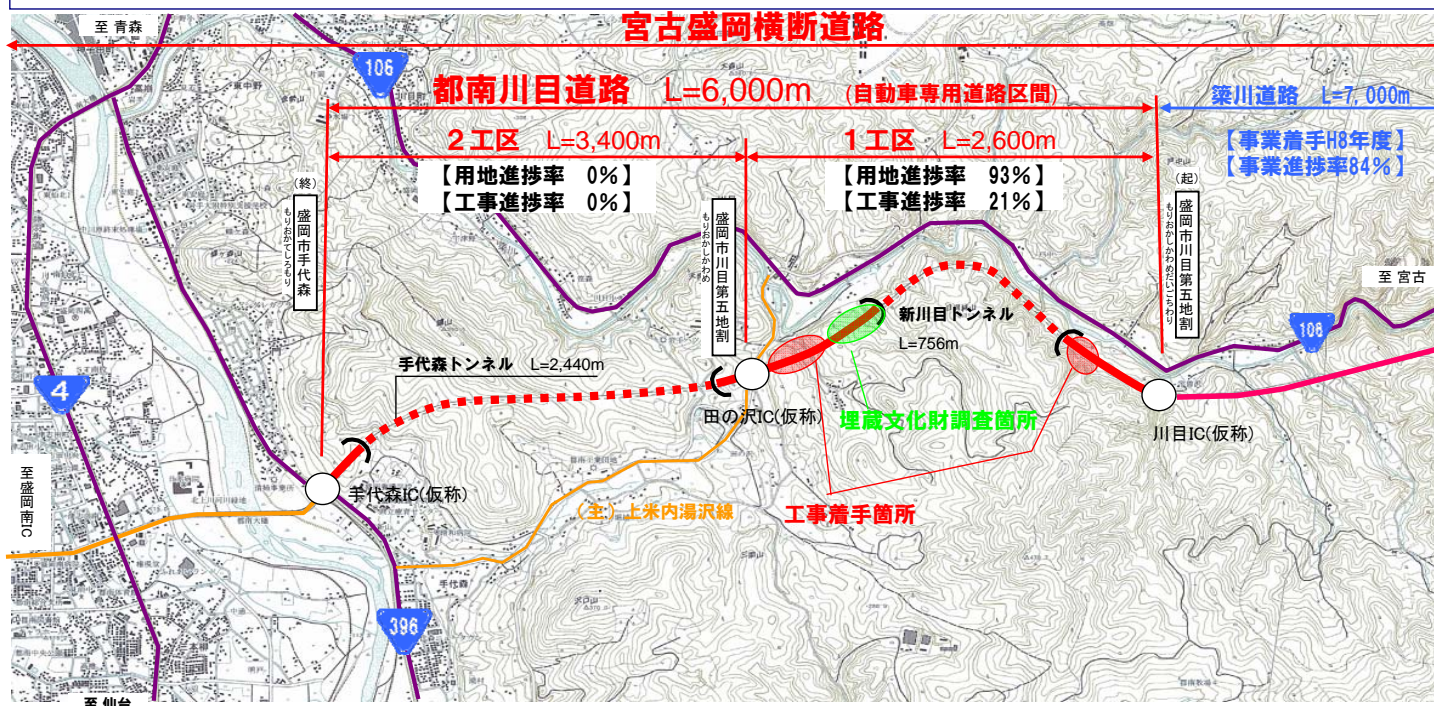
## 主な事業経緯

(年度)

- H 6 「宮古盛岡横断道路」が地域高規格道路 計画路線に指定
- H 8 「宮古盛岡横断道路」の盛岡市川目～手代森間(都南川目道路L=6km)が地域高規格道路 整備区間に指定
- H 9 都南川目道路(L=6km、4車線)事業着手(直轄権限代行事業)
- H13 都市計画決定(4車線、W=22.0m)
- H13 事業再評価(事業継続が妥当)
- H17 用地買収着手(1工区) [2車線で実施]
- H18 工事着手(1工区) [2車線で実施]
- H18 事業再評価(事業継続が妥当)

# 事業進捗状況

- H20年度末の事業進捗率 11% (事業費ベース：執行済額32億円)
- 用地の進捗率：71% (暫定2車線 78%)
- 工事の進捗率：8% (暫定2車線 12%)



## 1工区の進捗状況 (川目IC～田の沢IC間)



# 1工区の進捗状況（川目IC付近）



# 1工区の進捗状況（田の沢IC付近）



本線部の現在の状況



## 2工区の進捗状況（田の沢IC～手代森IC）

### ■2工区（L=3.4km）

用地着手：未着手

工事着手：未着手

【平成20年度末迄】

調査・設計を実施



## （参 考）「地域高規格道路」について

### 位置付けと役割

- 全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン」(H10.3 閣議決定)に位置付け。
- 高規格幹線道路(高速道路等)と一体となって、地域発展の核となる都市圏の形成や地域間相互の交流促進、空港・港湾等の広域交通拠点との連絡等に資する路線を地域高規格道路として指定。

### 構造要件

- 概ね60km/h以上の速度サービスを提供できる質の高い道路
- 自動車専用道路またはそれと同等の機能を有する道路構造
- 車線数は2車線以上

### 路線の指定

- 社会資本整備審議会道路分科会の議を経るなどにより、「候補路線」「計画路線」「調査区間」「整備区間」を順次指定。